

## 留学報告書

2年 野俣佳那

私は4か月間ロシアに留学してきて、今ふと考えて真っ先に思い浮かぶのはロシアで出会った人たちです。国が違う人、年齢が違う人など様々な人たちに出会い、ウラジオストクのあらゆるところに行き、多様な文化に触れました。その体験を写真と一緒に振り返っていきます。

はじめに、日本の食文化との違い、意外と多い海外の料理店について紹介します。

日本では毎食お米でもいいという人が多いですが、ロシアは少ないように思えました。というのもロシア人は朝たくさん食べるけれども昼、夜は日本に比べると比較的少ないようです。ロシア人の友達も日本に旅行に来た際、お米が毎日出てきてしばらく食べなくてもいいとっていましたし、学校のカフェでロシア人の食事の少なさに驚くことも何度もありました。

ロシアは日本と食べ物が違いすぎて口に合わないのではないかと留学以前は不安に思っていました。しかし、ウラジオストクの街には日本、韓国、中国、アメリカ、メキシコなど様々な国のレストランがあり、食べ物で不自由と思うことはありませんでした。学校終わりや休日は外国人の友達と毎回違うレストランやカフェに行きました。ウラジオストクにはカフェやレストランがとても多かったです。



韓国料理店



日本料理店



ロシアカフェ（ブリヌイ）

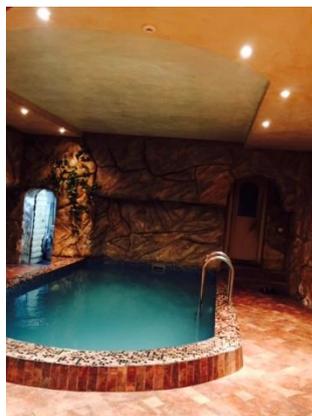
つぎに、ロシアの娯楽を紹介します。

ロシアのサウナは日本と少し異なり、建物を貸し切ります。そこにはサウナだけでなく、

私が訪れたサウナはサウナが二種類、水風呂（プール）、ベッドルーム、ビリヤードルーム、シャワールーム等が備わっていました。ロシア人は大人数で貸し切ってサウナを楽しみながらパーティを開くそうです。サウナだけでなくマンションの一室を貸切り中国人の友達の誕生日パーティを開くこともありました。そこにはお風呂やキッチン、TV もあって普通の家のような空間を楽しめます。



誕生日パーティ



サウナにあるプー

ル

留学では語学だけでなく、ロシア以外の文化や様々な人たちと交流でき、私にとってとても貴重で学ぶことが多くある4か月間でした。今回学んだことを忘れずにこれからも学び続け、ロシア語の力を伸ばしていきたいです。さらに今回の留学で他国にも関心を持ったので、大学生のうちに世界中様々なところに行き、国際関係を広げたいです。